

輸入貨物の評価（個別・包括）申告書


新規申告

変更届

あて先 殿	評価申告年月日	変更届年月日	包括申告受理番号又は輸入申告番号	輸入者符号
申告貨物の品名・銘柄・単価		輸入者住所氏名印		包括申告の関係税関名
		(署名) 担当部課 TEL ()		
		代理人住所氏名印		
生産者名	(署名) 担当部課 TEL ()			

上記の貨物に関し、関税法施行令第 4 条第 1 項又は第 4 条の 2 第 1 項の規定により第 4 条第 1 項第 3 号若しくは第 4 号又は第 4 条の 2 第 1 項第 9 号若しくは第 1 0 号に掲げる事項のうち下記について次のように申告します。

A . 輸出入当事者（輸入取引がある場合には、輸入取引の売手及び買手について 内に×印を付すこと。）

輸 入 者	(氏 名)		輸 出 者	(氏名、国名)
輸入の委託者	(氏 名)		輸出の委託者	(氏名、国名)

B . 1 . この貨物の輸入申告価格は、次の規定に基づき計算する。

- 関税定率法第 4 条の 2
(同種又は類似の貨物に係る取引価格による課税価格の決定)
- 関税定率法第 4 条の 4
(特殊な輸入貨物に係る課税価格の決定)
- 関税定率法第 4 条の 6 (第 1 項 第 2 項)
(航空運送貨物等に係る課税価格の決定の特例)

- 関税定率法第 4 条の 3 (第 1 項第 1 号 第 1 項第 2 号 第 2 項)
(国内販売価格又は製造原価に基づく課税価格の決定)
- 関税定率法第 4 条の 5
(変質又は損傷に係る輸入貨物の課税価格の決定)

2 . この貨物について、関税定率法第 4 条 (関税定率法第 4 条の 2 関税定率法第 4 条の 3) の規定に基づいて輸入申告価格を計算することができない具体的な理由は、次のとおりである。

.....

.....

.....

3 . この貨物の輸入申告価格は、次のように計算する。

輸入申告価格の計算方法等（包括申告の場合にのみ記入する。）

この包括申告書は 平成 年 月 日 以降の輸入申告には適用できません。

(注) 1 . 印の箇所は記入しないで下さい。
2 . この申告書に記入する前に、記載要領をよく読んで、黒字で記載して下さい。
3 . 記入欄の広さが足りないときは、適宜の用紙に記入して添付して下さい。
4 . この申告の内容に変更が生じたときは、遅滞なく所定の届出をして下さい。
5 . この評価申告に基づく輸入申告による課税標準又は納付すべき税額に誤りがあることがわかったときは、修正申告又は更正の請求をすることができます。なお、輸入の許可後、税関長の調査により、この申告に基づく輸入申告による税額等を更正することがあります。
6 . 輸入者住所氏名印欄及び代理人住所氏名印欄には、住所及び氏名を記載の上、押印又は署名のいずれかを選択することができます（法人においては、法人の住所及び名称並びにその代表権者の氏名を記載の上、法人又は代表権者の押印若しくは代表権者の署名のいずれかを選択）。

受 理	審 査	税 関 記 入 欄